

2008年11月14日

経済産業省 資源エネルギー庁

長官 石田 徹 様

青森県生活協同組合連合会	会長理事	井筒	智義
秋田県生活協同組合連合会	会長理事	大川	功
岩手県生活協同組合連合会	会長理事	加藤	善正
宮城県生活協同組合連合会	会長理事	芳賀	唯史
山形県生活協同組合連合会	会長理事	岩本	鉄矢
福島県生活協同組合連合会	会 長	熊谷	純一

(公 印 省 略)

灯油に関する要請書

貴職におかれましてはご清栄のことと拝察申し上げます。

日頃より生活協同組合の事業・運営にご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

投機資金の過大な市場への流入により、WTI 原油価格が一時1バレル147ドルと異常ともいえる市場最高値を見たのは記憶に新しいところであります。原油高騰は穀物、飼料や肥料の価格高騰そして物価高になって私たち国民に押し寄せています。農林水畜産の生産者、商工業者そして生活者みんなの生産、経営、暮らしを直撃する事態となっています。

10月下旬にWTI原油価格が70ドルを切り、60ドル台に下がっているものの、灯油の元売仕切価格には十分反映されていません。一昨年(2006年)10月との比較では配達価格で1リットル当たり13円～21円もの高い価格となっています。このまま推移しますと北海道・東北でひとシーズン35,000円～12,000円もの負担増を強いられます。ご承知のように北海道・東北に住む私たちにとって冬の暖房は不可欠であり、「灯油」はその主力エネルギーとして欠かすことができない生活必需品です。この物価高騰につけ灯油に変る他の暖房手段にそう簡単には転換できません。

11月5日(水)「中央灯油懇談会」、11月12日(水)「東北地方灯油懇談会」においても、生協の代表者が出席し、意見交換をさせていただきました。私たち生協は、生活防衛として少しでも安く、安心して購入できるよう灯油の共同購入をすすめています。私たち生協は、この尋常ではない状況に、「もうガマンできない！ この原油高騰では、とてもやっていけません。」をスローガンに、『原油高騰から暮らしを守る生協組合員100万人署名』に取り組み、多数の市民より賛同を得、政府・国会に要請・請願活動を行っています。

つきましては、原油価格が急落し、為替が円高になっている状況下、原油価格の下落が今冬の灯油価格に速やかに適切に反映されるよう、生活を安定させる観点からの監視・指導を強化することを要望します。また、灯油の元売仕切価格の決定に当たっては、透明性と妥当性の有無を消費者が納得できるよう説明すべきと考えます。石油元売各社が開始したガソリン・灯油などの市場運動型への仕切り値決め方式の採用は貴省の指導といわれていますが、実施後、現行方式と新方式のどちらが消費者にとって分かりやすいのかの優劣評価と判断を広く公表することを要望します。